



- ◆ 1 ページ
 - ・ 研修紹介 (初任者研修)
 - ・ 学校紹介 (阿戸中学校)
- ◆ 2 ページ
 - ・ 授業づくりシリーズ 学ぶ意欲が高まる授業を目指して (中学校理科編)
 - ・ 教育センター情報 「土曜開館」

広島市教育センター

「初任者研修」より

5月号

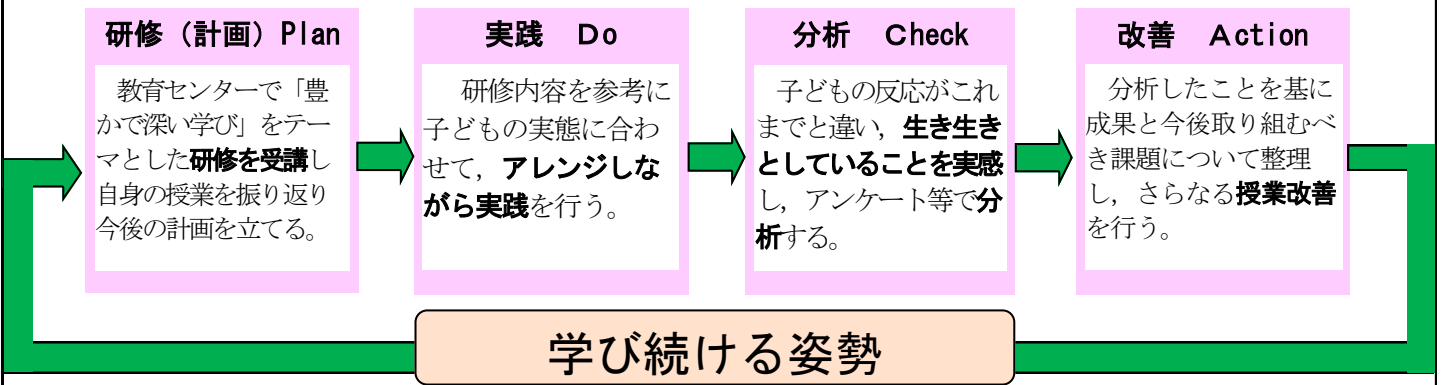
研修紹介

学び続ける 教師をめざして

初任者研修

4月13日、14日に、今年度最初の初任者研修が行われました。はじめに、広島市教育センター市川所長から、次の世代を担う人材として、心がけてほしいことについての講話がありました。今年度4年目となる教師の例を挙げながら、教師という職責の重さへの自覚や使命感、教育に携わることの喜びを心に留め、常に**学び続ける教師をめざすこと**の大切さを強調されました。

【今年度4年目となる教師の例】



学校紹介

多様な放課後学習会を設定

阿戸中学校

阿戸中学校では、**主体的な学習態度の育成**や**学習習慣の確立**を目指し、**生徒の主体性を重視した多様な放課後学習会**を実施しています。具体的には、「テスト前学習会」「水曜学習会」「英語対策学習会」等、子どものニーズに応じた**5つの学習会**を設定し、「自分で、そして友達と、やる気スイッチを入れよう!」を合い言葉に学習に励んでいます。学習会には、学習サポーターとして地域のボランティアの方を招聘し、「無言学習」「分からない時のみ相談」など、自分たちで決めたルールを定着させることで、落ち着いて取り組む環境づくりを心がけています。生徒は、**自分に合った学習会を選んで参加**することができ、平成28年度は、全66回の学習会に延べ516名の生徒が参加する等、主体的な姿勢で学習へ取り組むことができています。

※回数・人数はH28年度実績

多様な放課後学習会

<p>【テスト前学習会】</p> <p>テスト週間に実施。特に1年生は試験勉強の仕方をここで学んでいます。</p> <p>全23回 延べ279名参加</p>	<p>【水曜学習会】</p> <p>生徒からの要望で行事等のない水曜日に実施しています。</p> <p>全17回 延べ83名参加</p>	<p>【3年生だけ学習会】</p> <p>受験を意識した3年生が、高い集中力で集う参加率の高い学習会です。</p> <p>全11回 延べ62名参加</p>	<p>【英語対策学習会】</p> <p>阿戸小講師の協力のもと、合格めざして取り組んでいます。</p> <p>全14回 延べ88名参加</p>	<p>【小学校マースクール支援】</p> <p>小学校のマースクールに参加し、生徒が指導者役をしています。</p> <p>全1回 4名参加</p>
---	---	--	--	--



成果

生徒

- ・ 学習会で勉強がはかどったため、家でも気分よく、自主学習の続きに取り組むことができました。
- ・ 友達の勉強に向かうスイッチの入り方を見て、刺激を受けました。

学習サポーター

- ・ 中3は、テストの有無に関わらず、意欲的に学習しています。それが他学年に良い影響を与えています。
- ・ 学習方法を学び、公民館等でも学習する生徒の姿が増えています。

教員

- ・ 当初は「誰も行かないのでは?」と心配しましたが、自主的に参加し、自立した学習習慣を身に付ける大きな手立てになっています。

～子どもの心に
火をつける～



学ぶ意欲が高まる授業を目指して

子どもたちの「学ぶ意欲」を高めるためには、学習過程の中の「導入場面」「課題認識場面」「課題解決場面」「振り返り場面」の中で、子どもが主体的になれる活動を仕組むことが重要です。

今回は、「導入」から「課題認識場面」に視点を当てて、自分なりに根拠のある仮説設定を行った中学校理科の事例を紹介します。

課題認識場面

意見交流から導く自分なりの仮説設定

中学校理科編

理科の学習において学ぶ意欲を高めるためには、「課題認識場面」において、自分なりに根拠のある仮説を設定させることも必要です。そのためには、子どもが考えたいような事象提示を行うことが大切です。また、個人で設定した仮説をグループで交流させることでより自分なりの仮説になり、確かめたいものになります。

中学校第3学年 「運動とエネルギー」
二葉中学校 川口 健史 教諭の実践
※ 実践は平成28年度
五日市南中学校におけるものです。

導入

子どもが考えたいような事象提示

発問

一定の速度で動く台車からボールを落とすと、台車のA～Cのどこに落ちるでしょうか？

POINT

「なぜ?」「どうなるんだろう。」という気持ちを引き出す。

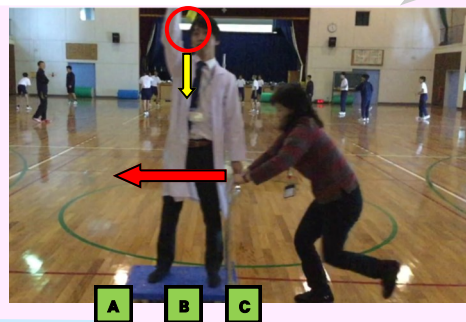
① 個人で仮説を考える。(自分なりの根拠)

- Cに落ちると思う。**なぜなら**、さっきやったみたいに、重力でボールが下に落ちて、台車は 押されて左に進むから。
- Bに落ちると思う。**なぜなら**、ボールも台車と一緒に左に進むから。
- Aに落ちると思う。**なぜなら**、台車を押したスピードがボールに加わるから。

② グループで仮説の交流を行う。

- 自分の仮説と一緒に。**自信**ができた。
- 落ちる場所は一緒だけど、根拠が違うな。**理由**を教えて。
- ～さんの仮説は、自分の仮説と違う。**そんな考え方もあるんだ**。気付かなかった。

以前学んだことを踏まえると、こうなって・・・
あー早く確かめてみたい。



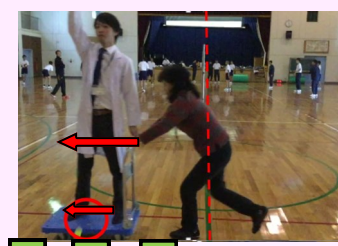
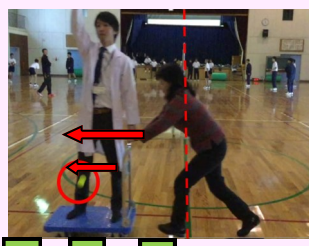
POINT

こんな経験したことありませんか？

いいね。その考えもありかも。

課題認識

課題解決へ



えっ！なぜBに落ちるの？

やはり。仮説どおりだ。

おしらせ

教育センターはみなさんの自主研修をサポートします

Web紹介

土曜特別セミナー

教育実践サポート

教育センターのホームページに、教育センター研修の授業で実際に使用した「学習指導案」を掲載しています。今後の授業にぜひご活用ください。

各園・校から提供された学習指導案を学年別に多数掲載しています。



こちらをクリック→

小学校における
マット運動指導の工夫

平成29年6月17日(土)
9:00~12:00

講師 広島大学大学院
大後戸 一樹 准教授

指導のポイントや安全について実技を通して学びます。

詳しくはこちら

http://10.91.11.102/press/doyou/h29/mat_undou.pdf

月1回の土曜開館の際に、指導主事に直接相談することができます。事前に予約することもできますので、ぜひ活用してください。

6月担当

担当業務

村山 友一

初任研, 国語科(中)等

北谷 一水

2・3年次研, 体育科等